

詳細目次

はじめにー「冷戦後」の国際社会の要請	1
第1章 紛争解決におけるNGOの役割ー理論的検討	4
1-1 序	4
1-2 「紛争解決」の概念とNGOの役割	4
1-3 「外交空間」の拡大とNGOの役割	6
1-3-1 外交チャンネルの多元化	6
1-3-2 予備交渉の重要性の増大	7
1-4 紛争解決の方法	9
1-4-1 分析的方法ー基本的ニーズの発見と充足	9
1-4-2 心理的方法ー「傷を癒す」過程	12
1-5 小括	14
第2章 MRA (道徳的再武装運動) の活動分析	17
2-1 設立の経緯と組織哲学	17
2-2 具体的紛争解決事例	18
2-2-1 第2次大戦後の独仏和解ーヨーロッパ統合の起源	18
2-2-1-1 政府レベルの諸活動	18
2-2-1-2 MRAの活動	20

2-2-1-3	まとめ	23
2-2-2	戦後日本の国際社会への復帰—アジア太平洋諸国との和解を中心に	24
2-2-2-1	政府レベルの諸活動	24
2-2-2-2	MRAの活動	26
2-2-2-3	まとめ	31
2-2-3	ジンバブエの独立—脱植民地化における黒人・白人諸勢力の和解	33
2-2-3-1	政府レベルの諸活動	33
2-2-3-2	MRAの活動	37
2-2-3-3	まとめ	40
2-3	総括と展望	42
2-3-1	MRAの活動の性格	42
2-3-2	最近の活動	44
2-3-3	課題と展望	45

第3章 カーターセンターの活動分析 47

3-1	設立の経緯と組織哲学	47
3-2	具体的紛争解決事例	48
3-2-1	ニカラグアにおける民主化—選挙監視から和解へ	48
3-2-1-1	政府レベルの諸活動	48
3-2-1-2	カーターセンターの活動	52
3-2-1-3	まとめ	56
3-2-2	エチオピア内戦における調停の試み	57
3-2-2-1	政府レベルの諸活動	57
3-2-2-2	カーターセンターの活動	60
3-2-2-3	まとめ	65
3-3	総括と展望	66
3-3-1	カーターセンターの活動の性格	66

3-3-2	最近の活動	68
3-3-3	課題と展望	70

第4章 インターナショナルアラートの活動分析 71

4-1	設立の経緯と組織哲学	71
4-2	具体的紛争解決事例	72
4-2-1	ウガンダにおける紛争解決—「国家再建」支援	72
4-2-1-1	政府レベルの諸活動	72
4-2-1-2	インターナショナルアラートの活動	75
4-2-1-3	まとめ	78
4-2-2	フィリピンにおける紛争解決—「平和ゾーン」の経験移転	79
4-2-2-1	政府レベルの諸活動	79
4-2-2-2	インターナショナルアラートの活動	83
4-2-2-3	まとめ	86
4-3	総括と展望	87
4-3-1	インターナショナルアラートの活動の性格	87
4-3-2	最近の活動	90
4-3-3	課題と展望	91

第5章 紛争解決におけるNGOの役割—比較と展望 93

5-1	NGOの役割の原型—共通の特色	93
5-1-1	活動空間—国内紛争におけるNGOの比較優位	93
5-1-2	非強制的活動手法—政府等とのパートナーシップ	94
5-2	NGOの諸類型	95
5-2-1	全体的比較	96

5-2-2	4つの次元に関する比較	96
5-2-3	財源調達に関する比較	97
5-3	NGOの手段体系－仲介と紛争解決技術支援	98
5-3-1	手段体系の必要－各NGOの対応	98
5-3-2	2つの手段－仲介と紛争解決技術支援	99
5-4	課題と展望－NGO活動支援システムの構築へ向けて	99
5-4-1	調整－ネットワーク化	99
5-4-2	機能的責任の確保	100
5-4-3	技術革新の必要－事後的紛争解決から予防活動へ	101
5-4-4	支援体制の構築	102

おわりに	104
------	-----

注	105
---	-----